

# 2023年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社ティムコ  
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荻原 浩二

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年11月期第2四半期の業績(2022年12月1日～2023年5月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	1,814	7.4	125	82.4	124	64.9	98	44.9
2022年11月期第2四半期	1,689	12.3	68		75		67	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	39.66	
2022年11月期第2四半期	27.38	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第2四半期	5,985	4,672	78.1	1,886.57
2022年11月期	5,727	4,597	80.3	1,856.56

(参考)自己資本 2023年11月期第2四半期 4,672百万円 2022年11月期 4,597百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期		0.00		12.00	12.00
2023年11月期		0.00			
2023年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年11月期の業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,490	6.1	149	31.8	151	26.7	128	2.1	51.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	3,339,995 株	2022年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2023年11月期2Q	863,481 株	2022年11月期	863,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	2,476,514 株	2022年11月期2Q	2,476,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自2022年12月1日 至2023年5月31日)における日本経済は、コロナ禍からの社会・経済活動の正常化が進んだ一方、継続して不安定なウクライナ情勢や物価上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場では、3密を避けられる屋外アクティビティとして注目された需要からの反動減により苦戦した一方、アウトドア衣料品市場は、ターミナルを中心とした百貨店やショッピングセンターなどの商業施設に客足が回復したことや、旅行需要の回復に伴う影響などにより、概ね販売は順調に推移しました。

このような状況の中、当社では収益確保に取り組み、当第2四半期の売上高は18億14百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は1億25百万円(前年同期比82.4%増)、経常利益は1億24百万円(前年同期比64.9%増)、四半期純利益は98百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## (フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、コロナ禍において3密を避けられる屋外アクティビティとして需要が高まった反動や、原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控えなども見受けられ、当第2四半期の販売は全般的に苦戦しました。

当社の取り扱うルアー用品やフライ用品の販売に関しては、商品入荷が順調に進んだ新製品を中心に前年同期を上回る実績を示した一方、その他フィッシング用品に含まれる偏光サングラスは、市況の悪化に伴い販売が低迷しました。

その結果、当第2四半期におけるフィッシング事業の売上高は、5億29百万円(前年同期比3.5%減)となりました。一方、商品の値上げに伴う利益率の向上が影響し、セグメント利益(営業利益)は98百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

## (アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、コロナ禍において低迷していたターミナルを中心とした百貨店やショッピングセンターなどの商業施設に客足が回復したほか、旅行需要の回復も見られ、販売は順調に推移しました。特に、防寒衣料のほか、透湿防水素材(ゴアテックス)を使用した軽量ジャケットや、フィッシングギア等の販売が前年同期を上回る実績となりました。

その結果 当第2四半期におけるアウトドア事業の売上高は12億74百万円(前年同期比12.8%増)となりました。また、滞留商品の値引き販売が少なかったことなども影響し、セグメント利益(営業利益)は1億17百万円(前年同期比85.5%増)となりました。

## (その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期に関しては、その他売上高は10百万円(前年同期比0.4%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ2億57百万円増加し59億85百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加52百万円や電子記録債権の増加52百万円、商品の増加1億90百万円などの一方、現金及び預金の減少47百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億51百万円増加し、42億61百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券の増加8百万円などの一方で、無形固定資産の減価償却などによる減少3百万円などの影響により、前事業年度末に比べ6百万円増加し、17億24百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億83百万円増加し13億13百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加2億7百万円などの一方で、未払法人税等の減少1百万円や、その他に含まれる未払消費税等の減少8百万円や返金負債の減少15百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億81百万円増加し、10億75百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加2百万円やその他に含まれる資産除去債務の増加1百万円などの一方で、その他に含まれるリース債務の減少2百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1百万円増加し2億38百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ74百万円増加し、46億72百万円となりました。これは主に、四半期純利益98百万円の発生やその他有価証券評価差額金の増加5百万円などの一方で、前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ46百万円減少し、8億36百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5百万円(前年同四半期の得られた資金は1億5百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億24百万円や減価償却費30百万円、仕入債務の増加1億99百万円などによる資金の増加の一方、売上債権の増加1億4百万円や棚卸資産の増加1億92百万円、未払消費税等の減少8百万円、その他の流動負債の減少34百万円、法人税等の支払額9百万円などによる資金の減少によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、20百万円(前年同四半期の使用した資金は23百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14百万円や敷金及び保証金の差入による支出7百万円などによる資金の減少によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、32百万円(前年同四半期の使用した資金は16百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出29百万円とリース債務の返済による支出2百万円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間については、2023年1月19日の「2022年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想で計画をしております業績を上回る進捗となりました。

また、2023年6月16日の「投資有価証券売却益(特別利益)の計上見込みに関するお知らせ」で公表したとおり、第3四半期において投資有価証券売却益の計上を見込んでおります。

しかし、その一方で、度重なる物価の上昇、原材料価格やエネルギー価格の高騰や、4年ぶりにエルニーニョ現象が発生したと見られることによる天候に対する不安要素など、先行き不透明の状況が続くことを想定し、現時点では通期の業績予想を据え置きといたします。

なお、今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,855,543	1,807,658
受取手形及び売掛金	524,311	576,462
電子記録債権	87,423	139,673
有価証券	99,996	99,980
商品	1,361,026	1,551,106
その他	82,033	86,414
貸倒引当金	△394	△143
流動資産合計	4,009,939	4,261,152
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	460,222	461,604
土地	653,376	653,376
その他(純額)	21,282	21,252
有形固定資産合計	1,134,881	1,136,233
無形固定資産	23,410	20,167
投資その他の資産	559,197	567,810
固定資産合計	1,717,489	1,724,211
資産合計	5,727,429	5,985,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,649	832,408
未払法人税等	39,925	38,475
賞与引当金	2,067	1,958
その他	226,583	202,163
流動負債合計	893,225	1,075,006
固定負債		
退職給付引当金	165,052	167,722
その他	71,352	70,520
固定負債合計	236,404	238,243
負債合計	1,129,629	1,313,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,834,701	3,834,701
利益剰余金	155,921	224,421
自己株式	△478,060	△478,060
株主資本合計	4,592,562	4,661,061
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,237	11,052
評価・換算差額等合計	5,237	11,052
純資産合計	4,597,799	4,672,114
負債純資産合計	5,727,429	5,985,363

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,689,047	1,814,656
売上原価	924,045	946,161
売上総利益	765,002	868,495
販売費及び一般管理費	696,172	742,920
営業利益	68,830	125,574
営業外収益		
受取利息	886	1,232
受取配当金	537	624
為替差益	5,215	—
その他	277	382
営業外収益合計	6,916	2,238
営業外費用		
為替差損	—	2,824
その他	43	118
営業外費用合計	43	2,942
経常利益	75,703	124,870
特別利益		
雇用調整助成金等	3,150	—
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	3,180	—
特別損失		
固定資産除却損	0	48
特別損失合計	0	48
税引前四半期純利益	78,883	124,822
法人税、住民税及び事業税	12,395	22,233
法人税等調整額	△1,318	4,371
法人税等合計	11,077	26,604
四半期純利益	67,806	98,217

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	78,883	124,822
減価償却費	26,797	30,788
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△84	△251
賞与引当金の増減額 (△は減少)	169	△108
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,069	2,670
受取利息及び受取配当金	△1,423	△1,856
為替差損益 (△は益)	△3,647	△1,183
固定資産除却損	0	48
固定資産売却損益 (△は益)	△29	-
雇用調整助成金等	△3,150	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△116,770	△104,401
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△90,157	△192,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	306,476	199,629
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△55,450	△8,747
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,165	△1,739
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14,865	△34,260
その他	△52	△328
小計	113,189	12,580
利息及び配当金の受取額	1,439	1,636
雇用調整助成金等の受取額	4,590	-
法人税等の支払額	△13,986	△9,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,233	5,211
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△911,800	△811,800
定期預金の払戻による収入	903,600	813,600
有価証券の償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△14,301	△14,606
有形固定資産の売却による収入	30	-
無形固定資産の取得による支出	△375	△600
投資有価証券の取得による支出	-	△100,000
資産除去債務の履行による支出	△630	-
敷金及び保証金の差入による支出	△250	△7,031
敷金及び保証金の回収による収入	101	155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,625	△20,283
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3,346	△2,760
配当金の支払額	△13,268	△29,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,615	△32,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,647	1,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,640	△46,085
現金及び現金同等物の期首残高	629,903	882,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,544	836,758



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	548,952	1,129,632	1,678,585	10,462	—	1,689,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	548,952	1,129,632	1,678,585	10,462	—	1,689,047
セグメント利益	94,994	63,481	158,475	5,597	△95,243	68,830

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△95,243千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	529,790	1,274,445	1,804,236	10,420	—	1,814,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	529,790	1,274,445	1,804,236	10,420	—	1,814,656
セグメント利益	98,423	117,744	216,168	5,496	△96,089	125,574

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△96,089千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。